

葛城修験

日本遺産

里人とともに守り伝える修験道はじまりの地

「祈り」を見つめる
再発見の旅



※法華経二十八品及び経塚の名称、所在地については諸説あります。
※イラストについてはイメージです。

日本遺産

葛城修験

修験道はここから始まった



日本遺産とは？

地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の伝統・文化を語る「ストーリー」を日本遺産として文化庁が認定する制度。そのストーリーのもととなる有形・無形の文化財を積極的に活用して、地域振興につなげることを目的に、2015年に創設。これまでに「葛城修験」を含む104件が認定されている(2025年12月末日現在)。



葛城修験の基礎知識

役行者

修験道の開祖といわれる役行者は本名を役小角えんのおづめといい、7~8世紀にかけて実在した人物とされている。役行者にまつわる数多くの伝説の中には、不思議な力を駆使して、空や野山を駆け巡り、鬼神を自在に操ったといった逸話も残されている。役行者が葛城修験の中心となる聖地に移った修行の地が「大峰山」であり、修験者にとって葛城修験とともに重要な行場とされている。



役行者像 提供「本山修験宗総本山聖護院」

装束について

修験者の装束は険しい山へ入って行くために、便利で動きやすい現代の登山服のような機能に加えて、仏の教えをさまざまな形で象徴するものになっている。装束を法衣、道具を法具と呼び、主なものとしては頭につける直径8cmほどの頭巾まづかけである頭襟きん、白衣の上から着る鈴懸すずかけ、首から下げる結袈裟ゆいげさ、手で持つ錫杖しやくじょうや合図などに使う法螺ほらなどがある。



聖護院(左)と七宝瀧寺(右)の修験者の装束

経塚と行場

役行者は葛城の峰を仏法の世界に見立てて、法華経八巻二十八品を、それぞれ経筒に入れて埋納した。この二十八品の埋納場所が経塚と呼ばれ、葛城修験の中心となる聖地であり、これらの経塚を巡ることが葛城修験の中核を成している。葛城修験には28の経塚も含め役行者ゆかりの修行の地、つまり行場が点在しており、重要な行場については江戸時代に著された「名所図会」の中で知ることができる。



20番経塚の石寺跡 常不軽菩薩像

葛嶺雑記

幕末の嘉永3年(1850)に刊行された『葛嶺雑記』には、28の経塚やその拝所などが詳細に記されており、現代人が葛城修験を知る上でも大きな役割を果たしている。葛城修験は、明治時代初期の修験宗廃止令等により衰退し、修行を行った行場は自然に還り、そこに至る道も一度は廃れたが、戦後、再興しようとする動きが生まれ、『葛嶺雑記』等の書物を参考に、実地調査等を行い、経塚などの所在地を確定させた。現代のガイドブックのようなこの書物の存在が修験者にとっての道標となっている。



七宝瀧寺所蔵の「葛嶺雑記」

和歌山、大阪、奈良の3府県にまたがって連なる「葛城」の峰々は、修験道の開祖と言われる役行者が初めて修行を積んだ地であり、まさに、修験道の歴史が始まった修験道誕生の地である。葛城修験の総延長112kmにも及ぶ峰々一帯は、古くから多くの神々が住まう場所として人々に崇められてきた場所であり、この地で修行を積んだ役行者が、法華経を1品ずつ埋納した28の経塚を残した場所でもある。この経塚を中心に役行者と縁のある寺社や滝、巨石などの行場を巡って行う修行を「葛城修験」といい、葛城修験を構成する文化財もこの地に点在している。2020年6月、日本遺産に登録された葛城修験は、今も多くの修験者たちにとって重要な行場であるのと同時に、修験者だけでなく広く一般の人々にとっても、その歴史や魅力に触れることができる存在として大きな注目を集めている。

ストーリーのポイント

1

海からはじまる修行の道

最初の経塚である「友ヶ島序品」は、山岳修行を行う修験道としては珍しく、和歌山市の加太沖に浮かぶ友ヶ島4島の一つ虎島にあり、普段観光客が訪れる沖ノ島から干潮時にだけ現れる岩場を歩いて渡る。友ヶ島にははじまる修験道は和歌山市加太へと続く。



1番経塚のある友ヶ島の虎島

2

地域とつながる修行の道

葛城修験の地に連なる山々はさほど高くないことから、他の修験の地に比べて集落との関わりが強く、地域信仰とも深く関わってきたといわれる。修験の道周辺の集落には修験者たちを宿泊させるなどの役割を果たした「迎之坊」などがあり、修行の休息地として利用された大阪府泉佐野市の奥家などにも関連資料が残っている。



修行の休息地として利用された奥家住宅

3

葛城修験のこれから

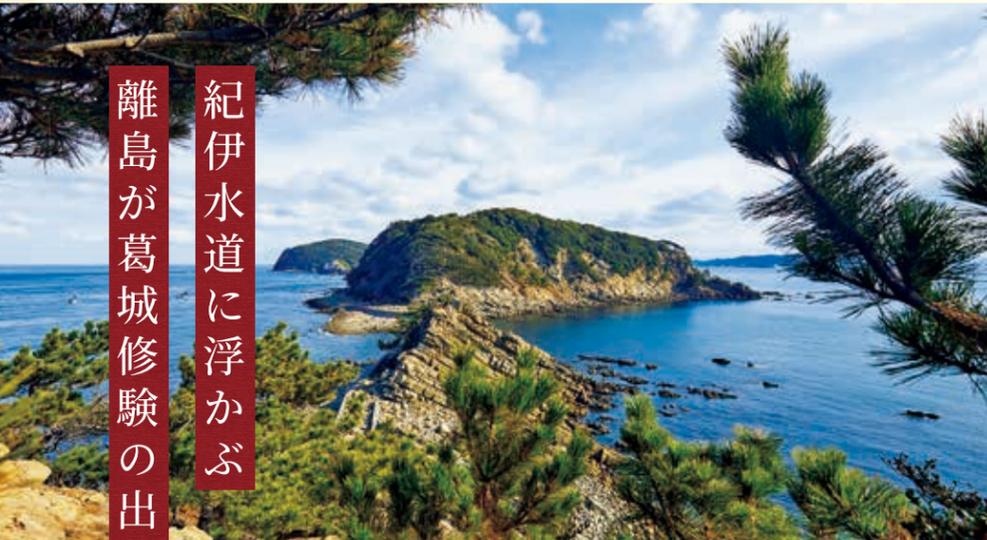
葛城修験では今も多くの修験者たちが修行を行う。修験道は道なき道をかき分け、崖をよじのぼり、沢を伝うなど過酷なものだが、一方で、行場のすぐ近くまで車の乗り入れができるなど、近年ではアクセスがよくなっているのも事実。葛城修験を知るために、まずは、美しい自然や文化、歴史と触れ合うことができる葛城の地を気軽に訪れてみることから始めてみたい。



行場への道とリンクするダイヤモンドトレール

離島が葛城修験の出発点

紀伊水道に浮かぶ



友ヶ島(虎島)

和歌山市の加太港から船で約20分の友ヶ島は葛城修験第一番経塚がある場所で、地ノ島、虎島、神島、沖ノ島の4つの島からなる。第一番経塚の「友ヶ島序品」がある虎島へは沖ノ島の東端から干潮時に渡ることができる。
※2026年1月現在、一般の参拝は困難。

☎073-435-1234 (和歌山市観光課)
🚗和歌山県和歌山市加太
🚢加太港から船で約20分
📍あり(有料)

序品窟

二十八宿第一の霊場とされている。奥行約10m、幅約50cmの岩盤の割れ目に「妙法蓮華経序品第一」の経塚が祀られ、『紀伊国名所図会』などには「胎内潜」とも称したと伝えられ、今も各地から修験者が訪れている。



加太春日神社

慶長元年(1596年)に羽柴秀長の家臣・桑山重晴によって現在の場所に転移し、社殿が造営された。友ヶ島を行場とした役行者が勧請し守護神としていたとも伝わる。臺股や欄間などの彫刻は桃山時代の特徴を持ち、棟札14枚とともに重要文化財に指定。



☎073-459-0368 🚗和歌山県和歌山市加太1343
🚗南海電鉄加太線加太駅から徒歩10分🕒9時30分～16時30分 📍5台

大福山 譬喩品

大福山は、二十八宿第三(譬喩品)の霊場とされている。麓には葛城修験と関係の深い「墓の谷行者堂」や「直川観音」として親しまれている大福山本恵寺、「鳴滝不動」として有名な鳴滝山圓明寺などが点在する。



☎073-435-1234 (和歌山市観光課) 🚗和歌山県和歌山市直川 🚗JR阪和線六十谷駅から登山道入口まで徒歩約50分、登山道入口から大福山山頂まで約2時間 📍なし

金熊寺/信達神社

金熊寺は、役行者が開創し、鎮守として金峯、熊野両神を勧請したことから金熊寺と号すると伝わる。隣接する信達神社は、『葛嶺雑記』にも記載があり、神仏分離までは「金熊寺権現宮」と呼ばれていた。



☎072-482-3536/483-3632 🚗泉南市信達金熊寺813/795 🚗JR阪和線「和泉砂川駅」から泉南市コミュニティバス(山方面回り)で「金熊寺」下車徒歩5分 🕒7時～17時/9時～15時 📍12台程度

高仙寺(孝子観音)

「孝子」の名は、飛鳥時代、役行者が「妖術を使い民を惑わす者」として役人に追われた際、人質に取られた母を思って自ら捕らえられた孝心に由来するとされる。境内には、「役行者の母公の墓」とされる石積も残る。



☎072-492-2730 (峠町産業観光促進課) 🚗大阪府泉南郡岬町孝子1464 🚗南海電鉄本線孝子駅から徒歩で15分 📍なし

さくら地蔵 信解品

葛城修験第四番経塚。阪南市山中溪に文安5年(1448)銘の石碑が建つ。かつて桜の老木が近くにあったことからさくら地蔵とも呼ばれる。JR山中溪駅南側にある永禄12年(1569)銘の六十六部供養碑を当経塚とする説もある。



☎072-471-5678 (阪南市役所) 🚗大阪府阪南市山中溪 🚗阪和自動車道阪南ICから車で10分 📍なし

根来寺

真言宗中興の祖といわれる興教大師・覚鑑上人が開山した新義真言宗の総本山。葛城巡礼第34番の宿に定められた豊福寺を淵源とすることから、葛城修験とゆかりの深い寺である。



☎0736-62-1144 🚗和歌山県岩出市根来2286
🚗京奈和自動車道岩出・根来ICから車で5分
📍大人500円 🕒4～10月は9時10分～16時30分、11～3月は～16時 📍約80台

七宝瀧寺・修行体験



七宝瀧寺では、修験道修行の同列を希望する人のために一日修行体験を実施。修験者の先達の指導のもと、犬鳴山の行場、拜所を回峰した後、行者の滝での滝修行を行う。10日前までに要予約、定員に達し次第締め切り。

☎072-459-7101 🚗大阪府泉佐野市大木8 🚗阪和自動車道上之郷ICから車で20分 📍8000円(滝修行用衣の貸出含む) 🕒3月～11月の第3日曜日のみ実施(3月のみ第1日曜日) ※詳細はHPで要確認 📍50台

大威徳寺 法師品

葛城修験第十番経塚。役行者の開創と伝えられる牛滝山大威徳寺の境内に、梵字が刻まれた大きな自然石があり、『葛嶺雑記』には「惣門の中に経石あり。妙法師品第十之地」と記されている。



☎072-423-9486 (岸和田市観光課) 🚗大阪府岸和田市大沢町1178 🚗南海本線岸和田駅から南海ウイングバス牛滝山行きで牛滝山下車徒歩3分 📍なし

堀越癩観音

山間にひっそりと佇む、葛城修験二十八宿の行場の一つ。本堂に祀られる本尊の十一面観世音菩薩は、役行者が母の癩(疼痛を伴う内臓疾患の俗称)病の際に祈願し、一刀三礼のもとに彫刻したと伝わる秘仏。



☎0736-25-0001 🚗和歌山県伊都郡かつらぎ町東谷1360 🚗京奈和自動車道紀北かつらぎICから車で20分 📍20台

槇尾山 施福寺

欽明天皇勅願によって開かれた名刹。空海が仏門に入る際に剃髪したと伝わる髪堂のほか空海の捨身説話が伝わり、修験者の行場でもあった。花山法皇足守の馬頭観音や座高4mを超える方違大観音なども見どころの一つ。



☎0725-92-2332 🚗大阪府和泉市槇尾山町136
🚗阪和自動車道岸和田泉ICから車で20分
📍入山料500円、拝観料500円 🕒8～17時(11～2月は～16時) 📍100台

涌出山 岩湧寺

葛城修験の行場として知られる岩湧山(標高897m)北側の中腹に位置し、大宝年間(701-704)に、文武天皇の勅願により役行者が開いたとされる。山号は、法華経の「涌出品」と寺の周辺が岩の湧き出るような風景であることに由来する。



☎0721-62-4000 🚗大阪府河内長野市加賀田3824 🚗阪和自動車道岸和田泉ICから車で60分 📍70台(岩湧寺より1.5km手前から分散して6カ所あり)

葛城修験の中心地をなす行場

歴史の重みを感じる風格を残す



中津川行者堂

「中台」と呼ばれ、修行を行う聖護院門跡により山伏の位階を受ける重要な儀式「葛城灌頂」が行われる、葛城修験の中心地をなす行場。現在も、毎春の護摩供や修験者のもとを住民が話し合う「行者講」も開かれている。

☎0736-77-0843 (紀の川市観光振興課)
🚗和歌山県紀の川市中津川
🚗京奈和自動車道紀の川ICから車で15分 📍なし

中津川行者堂での護摩供

毎年4月、聖護院門跡によって行われる採燈護摩供は、中津川行者堂に護摩壇を組み、春の峰入り修行成就を祈禱する重要な儀式として受け継がれている。



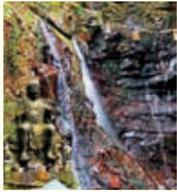


原始の森・自然に満たされた行場
今も全国から修行者が訪れる

犬鳴山 (七宝瀧寺)

齊明7年(661)、役行者が開基した葛城修験の中心的行場であり、葛城二十八宿の第八宿。「犬鳴」の号は、山中で大蛇に襲われた猿師を、身を挺して守った愛犬に、宇多天皇が賞賛を与えたことに由来する。女人大峯とも呼ばれ、女性も修行できる行場として知られており、山内の主要な行場、岩、堂、祠などを巡ることができる。

☎072-459-7101 ⑧大阪府泉佐野市大木8
⑨阪和自動車道上之郷ICから車で20分
⑩7時30分～16時30分 ⑪50台



行者の滝を含む7つの滝

七宝瀧寺の山内にある四十八滝のうち、寺号の所以ともなった代表的な7つの滝(両界の滝・塔の滝・弁天の滝・布引の滝・固津喜の滝・行者の滝・千手の滝)は、淳和天皇が干ばつに際して雨乞祈願成就の霊験を称え、金銀などの七宝にちなみ命名した名瀑。

蕎原とちのき谷

今日まで「葛城山伏行所」と伝えられる和泉葛城山の谷で、「不動谷」とも呼ばれています。『葛嶺雜記』には、役行者が護摩修法を行った旧跡であると記されており、険しい谷の奥には行場であった落差10mの不動の滝があります。地元住民や土地所有者、修験者により今日まで守り伝えられています。



☎072-433-7126 (貝塚市教育委員会教育部文化財保存活用室)
⑧大阪府貝塚市蕎原(とちのき谷) ⑨私有地につき立ち入りできません ⑩なし

小峯寺

役行者の開基といわれ、鎌倉時代初期の「諸山縁起」に修験道の行場として記録される古刹。境内には行者堂のほか、役行者の母の墓と伝わる十三重塔が残されており、毎年3月には、柴燈大護摩祈禱がとり行われる。



☎0736-37-0250 ⑧和歌山県橋本市小峰台2-1
⑨京奈和自動車道橋本東ICから車で5分 ⑩10台程度

降井家住宅

江戸時代の岸和田藩大庄屋の屋敷。京都の聖護院門跡(寺院)が葛城修験の聖地、中津川行者堂で山伏の位階を授ける儀式「葛城灌頂」を行う道中、降井家住宅が休息所として利用されたと伝わる。邸内の書院は重要文化財。



☎072-453-0600 (熊取町教育委員会生涯学習推進課 教育・子どもセンター内) ⑧大阪府泉南郡熊取町大久保中 ⑨JR阪和線熊取駅から徒歩10分 ⑩例年11月初旬のみ公開 ⑪なし

大澤寺

白鳳年間、役行者が修験行場の拠点として草堂を結び薬師如来を勧請したのが開基とされる。古文書によると役行者が神福山の第十九経塚のそばに地藏尊を安置して大澤寺の奥之院としたと伝えられている。



☎0747-23-1744 ⑧奈良県五條市大沢町581
⑨京奈和自動車道五條ICから車で15分 ⑩8～17時 ⑪10台

岩屋

葛城修験第二六番経塚。現在、第二六番経塚は二上山雄岳山頂にあるが、『諸山縁起』によると、中世にはこの地にあったとされている。二上山から聖徳太子御廟(しょうとくたいしごびょう)に至る竹内街道の沿道には「葛城修験」の開祖とされる役行者の石像が点々と祀られており、現在でも聖徳太子御廟を守る叡福寺(えいふくじ)の春の聖霊会式では境内で山伏による護摩焚きが盛大に行われている。



☎0721-98-5534 (太子町教育委員会事務局生涯学習課) ⑧大阪府南河内郡太子町山田岩屋2044 ⑨南阪奈道路太子ICより南へ6分(二上山万葉の森駐車場まで) ⑩駐車場より徒歩約15分 ⑪参拝自由 ⑫二上山万葉の森案内所利用



平石峠 妙音菩薩品

二上山の南、河内と大和の国境を成す岩橋山北嶺、平石峠にある葛城修験第二十四番経塚。峠の手前の山の斜面に、石積をした経塚とともに、役行者と不動明王を刻んだ石仏2体が祀られている。

☎0721-93-2500 (河南町環境・まちづくり推進課) ⑧大阪府南河内郡河南町平石 ⑨近鉄長野線富田林駅から金剛バス平石下車、徒歩約30分 ⑩なし

當麻寺

當麻寺の創建当時、二上山の東麓は役行者の私領で、領地を寄進してもらって建てられ、役行者が最初に修行した地が當麻といわれている。その名残として金堂の南側には役行者が座った「影向石」が今も残されている。



☎0745-48-2001 ⑧奈良県葛城市當麻1263
⑨近鉄南大阪線當麻寺駅から徒歩で15分 ⑩あり(有料)

吉祥草寺

役行者が開基し、舒明天皇により創建されたと伝わる古寺。役行者の生誕地とされ、この地に吉祥草という草を用いて庵を結んだことが寺名の所以とされる。境内には「役行者 産湯の井戸」といわれる古井戸や腰掛石が残る。



☎0745-62-3472 ⑧奈良県御所市茅原279
⑨JR和歌山線玉手駅から徒歩5分 ⑩9～17時 ⑪あり

葛城一言主神社

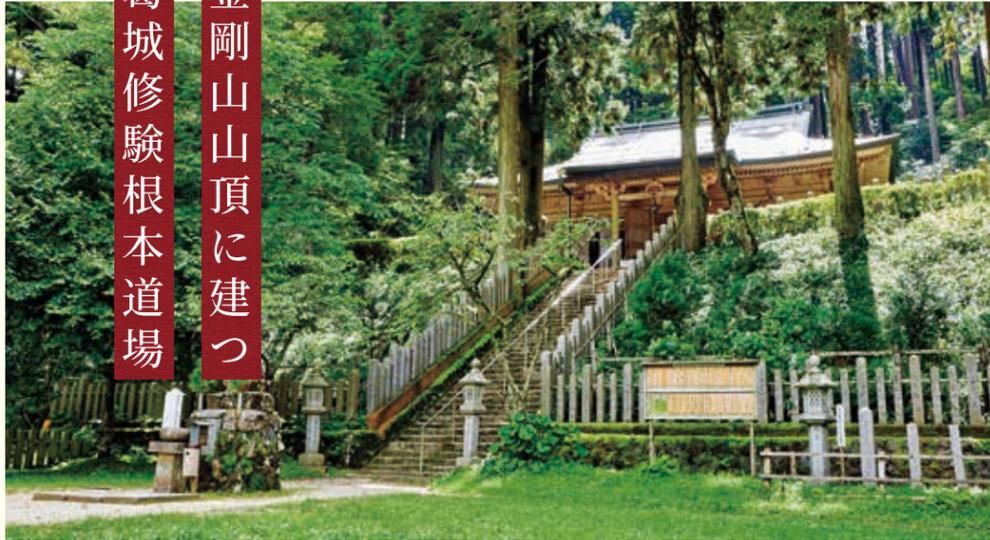
記紀神話に登場し、雄略天皇の葛城山での狩りの最中に現れたとされる大神、一言主神を祀る古社。一言の願いであれば何ごとでも叶える神力を持つとされ、地元では「一言(いちごん)さん」として親しまれている。



☎0745-66-0178 ⑧奈良県御所市森脇432 ⑨京奈和自動車道御所ICから車で10分 ⑩50台

葛城修験根本道場

金剛山山頂に建つ



転法輪寺

天智4年(665)、役行者が一言主大神を鎮守とし、法起大菩薩を勧請したことが起源とされる。修験道七高山の一つに数えられる行場として栄えた古刹。明治の廃仏毀釈で廃寺になったが戦後に再興され、葛城修験の精神を伝えている。本尊・法起大菩薩は、金剛山一帯だけで信仰される稀有な仏と、多聞も知られる。金剛山の山頂にあり葛城二十八宿の中でも最高峰に位置する。

☎0721-74-0873 ⑧奈良県御所市高天476 金剛山頂
⑨南海河内長野駅から南海バス 金剛山ロープウェイ前行きで30分、終点下車、ロープウェイで6分、山頂駅から徒歩30分 ⑩なし
※2021年3月現在、金剛山ロープウェイは運行停止中(再開未定)

多聞寺跡

千早赤阪村にあり、かつて山伏が修行した行場・金剛七坊の一つに数えられた、多聞寺が建っていたといわれる。跡地に建つお堂には鬼子母神やお地藏さん、阿弥陀如来などが祀られ、今でも修験者たちが立ち寄っている。

☎0721-72-1300 (千早赤阪村教育課) ⑧大阪府南河内郡千早赤阪村千早地区内 ⑨南阪奈道路羽曳野ICから車で45分 ⑩なし



れんげ大祭

開祖である役行者の命日である7月7日に蓮の花を供え、柴燈大護摩、火渡り修行が行われる転法輪寺で最も古くから受け継がれる祭り。



ストーリーの構成文化財一覧表

| | | | | | | | | |
|----|--------------------------|----------|------|---------------|-------|------|------------------|-------|
| 1 | 友ヶ島 序品 | 和歌山市 | 34 | 奥家住宅 | 泉佐野市 | 65 | 政基公旅引付 | 泉佐野市 |
| 2 | 神福寺跡 方便品 | 岬町 | 35 | 松尾寺 | 和泉市 | 66 | 行者の滝を含む7つの滝 | 泉佐野市 |
| 3 | 大福山 譬喩品／雲山峰 譬喩品 | 和歌山市 | 36 | 禎尾山 施福寺 | 和泉市 | 67 | 葛城踊り | 岸和田市 |
| 4 | さくら地蔵 信解品 | 阪南市 | 37 | 丹生都比売神社境内 | かつらぎ町 | 68 | 意賀美神社 雨降りの滝 | 岸和田市 |
| 5 | 倉谷山 薬草喩品 | 紀の川市 | 38 | 神野阿弥陀堂 | かつらぎ町 | 69 | 笹踊り | 和泉市 |
| 6 | 志野峠 授記品 | 紀の川市 | 39 | 岩湧寺 | 河内長野市 | 70 | 堀越齋観音 | かつらぎ町 |
| 7 | 中津川 化城喩品 | 紀の川市 | 40 | 草谷寺 | 五條市 | 71 | 葛城蔵王権現社 | かつらぎ町 |
| 8 | 犬鳴山七宝瀧寺鈴杵ヶ嶽五百弟子受記品 | 泉佐野市 | 41 | 金剛山 | 御所市 | 72 | 天女山正樂寺 | かつらぎ町 |
| 9 | 嶺の龍王 授学無学人記品 | 紀の川市 | 42 | 當麻寺 | 葛城市 | R3-2 | 四郷千両踊り | かつらぎ町 |
| 10 | 大威徳寺 法師品 | 岸和田市 | 43 | 當麻寺中之坊 | 葛城市 | 73 | 小峯寺 | 橋本市 |
| 11 | 七越峠経塚山 見宝塔品 | 和泉市 | R3-1 | 岩屋 | 太子町 | 74 | 不動山の巨石 | 橋本市 |
| 12 | 護摩のたわ朴留 堤婆達多品 | かつらぎ町 | 44 | 観念窟 | 和歌山市 | 75 | 東覚寺 八大龍王・葛城明神春祭り | 橋本市 |
| 13 | 向い多和 勸持品 | かつらぎ町 | 45 | 深蛇池 | 和歌山市 | 76 | 宮ノ講と葛城神社年越し行事 | 橋本市 |
| 14 | 南葛城山鏡宿 安樂行品／光滝寺仏徳多和 安樂行品 | 磯市／河内長野市 | 46 | 関井跡 | 和歌山市 | 77 | 行者まいり | 橋本市 |
| 15 | 岩湧山 従地湧出品 | 河内長野市 | 47 | 神島剣池 | 和歌山市 | 78 | 光滝寺 | 河内長野市 |
| 16 | 流谷金剛童子 如来寿量品 | 河内長野市 | 48 | 加太春日神社 えび祭り | 和歌山市 | 79 | 光滝寺炭焼不動尊 | 河内長野市 |
| 17 | 天見不動 分別功德品 | 河内長野市 | 49 | 紀州加太浦「採燈大護摩供」 | 和歌山市 | 80 | 大澤寺 | 五條市 |
| 18 | 岩瀬経塚山 随喜功德品 | 河内長野市 | 50 | 阿字ヶ峰行者堂 | 和歌山市 | 81 | 地福寺 | 五條市 |
| 19 | 神福山 法師功德品 | 五條市 | 51 | 加太淡嶋神社 | 和歌山市 | 82 | 多聞寺跡 | 千早赤阪村 |
| 20 | 石寺跡 常不軽菩薩品 | 御所市 | 52 | 常行寺 | 和歌山市 | 83 | 転法輪寺 | 御所市 |
| 21 | 金剛山 如来神力品 | 御所市 | 53 | 西念寺 | 和歌山市 | 84 | 吉祥草寺 | 御所市 |
| 22 | 水越多和 囑累品 | 御所市 | 54 | 鳴滝山圓明寺(鳴滝不動尊) | 和歌山市 | 85 | 葛城一言主神社 | 御所市 |
| 23 | 俱尸羅 薬王菩薩本事品 | 御所市 | 55 | 大福山本恵寺(直川観音) | 和歌山市 | 86 | 當麻寺竹之坊 | 葛城市 |
| 24 | 平石峠 妙音菩薩品 | 河南町 | 56 | 墓の谷行者堂 | 和歌山市 | 87 | 高雄寺 | 葛城市 |
| 25 | 高貴寺香華畑 観世音菩薩普門品 | 河南町 | 57 | 中山王子跡 | 和歌山市 | 88 | どんづる峯 | 香芝市 |
| 26 | 二上山 陀羅尼品 | 葛城市 | 58 | 慈眼院 | 岬町 | 89 | 穴虫峠の馬頭観音 | 香芝市 |
| 27 | 逢坂 妙莊嚴王本事品 | 香芝市 | 59 | 高仙寺 | 岬町 | 90 | 観音寺、三輪神社 | 香芝市 |
| 28 | 亀の尾宿 普賢菩薩勧発品／明神山 普賢菩薩勧発品 | 柏原市／王寺町 | 60 | 根來寺伽藍古絵図 | 岩出市 | 91 | 閑屋地蔵尊 | 香芝市 |
| 29 | 加太春日神社 | 和歌山市 | 61 | 中津川行者堂 | 紀の川市 | R6-1 | 金熊寺 | 泉南市 |
| 30 | 根來寺 | 岩出市 | 62 | 熊野神社 | 紀の川市 | R6-2 | 信達神社 | 泉南市 |
| 31 | 粉河寺 | 紀の川市 | 63 | 犬鳴山(七宝瀧寺) | 泉佐野市 | R6-3 | 蕎原とちのき谷 | 貝塚市 |
| 32 | 日根荘 大木の農村景観 | 泉佐野市 | 64 | 葛嶺雑記 | 泉佐野市 | R6-4 | 降井家住宅 | 熊取町 |
| 33 | 火走神社 | 泉佐野市 | | | | | | |

28の経塚位置図



関係市町村

和歌山県(和歌山市、橋本市、紀の川市、岩出市、かつらぎ町)
 大阪府(岸和田市、貝塚市、泉佐野市、河内長野市、和泉市、柏原市、泉南市、阪南市、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村)
 奈良県(五條市、御所市、香芝市、葛城市、王寺町)

※上の地図の地色の濃い部分が「葛城修験」の関係市町村です
 ※法華経二十八品及び経塚の名称、所在地については諸説あります。

葛城修験日本遺産活用推進協議会(和歌山県観光振興課内)

〒640-8585 和歌山県小松原通1-1

TEL:073-441-2424 FAX:073-432-8313

日本遺産「葛城修験」ホームページ

<https://katsuragisyugen-nihonisan.com>

